

【岐阜県の教育ビジョン】

ぎふの人間像 『地域社会人』
羽島市学校教育の方針

- ・全ての子供たちが、自己の力を最大限発揮して、学ぶ意義や喜びを実感する。
- ・地域との関わりを大切に「子供が主役となる」活動を実施する。
- ・いじめや問題行動の未然防止・早期発見に努め、早期対応を徹底する。
- ・不登校の予兆への早期対応や、学校復帰・社会的自立に向けた支援や働きかけを充実させる。

【めざす児童の姿】

- ・自分と仲間を大切に、共に生活を楽しむ。
- ・確かな学力を身に付け、主体的に学びに向かう
- ・自己の課題を見定め、目標をもって努力する。
- ・地域に感謝し、地域に貢献する喜びを味わう。

【めざす学校像】

- ・だれもが安心して自分らしさを発揮して、存分に頑張れる仲間関係が醸成された学級集団の育成
- ・知識・技能の習得に加え、自ら学び、よりよく問題を解決する資質や能力が身につく授業の創造
- ・やってみたく、努力したいことを見つけて挑戦できる活動の場の充実
- ・学校から地域へ発信していく活動、地域の方との関わりを通して地域に貢献する活動の充実

【地域の特徴】

- ・地域コミュニティが多く残っており、諸団体が深く学校と関わり協力してくださる。
- ・保護者間のつながりが深く、学校教育に対して理解があり、協力的である。

【児童の実態】

- ・やるとよいと理解したこと、教えられたことに主体的に取り組む児童が多い。
- ・相手を思いやる心にあふれ、温かく安心感のある仲間関係を築こうとする意識が高い。
- ・教えられていないことについて、自分ですると良いと判断して行動することが難しい。

<学校の教育目標>

なかよく

かしこく

たくましく

～気付き 考え 行動できる子～

なかよく

思いやりの心をもって、助け合い、励まし合い、共に向上できる子

かしこく

基本的な知識や技能を確実に身に付け、進んで学習に向かう子

たくましく

めあてをもって挑み続け、粘り強く最後までやり抜く子

誰もが安心して自分らしさを発揮できる仲間関係の中で、互いを尊重し協力し合いながら、課題を確かに捉え、その解決に向けてよりよい方法を考え、挑み続ける子

<学校教育目標具現に向けて大切にしていこう活動の場>

「豊かな心を育む」指導

- 意図的・計画的な異学年齢集団活動
- 道徳的実践力の育成をめざす道徳の授業
- 所属感や自己有用感を体得する特別活動
- 心を通わす挨拶の啓発活動
- 感謝の心を伝え合う日常での取組
- 児童の主体性によるボランティア、奉仕活動の生み出し

「確かな学力を身に付ける」指導

- 全校で取り組む学び方指導
 - ・効果的なスキル学習、家庭学習の取組
- 個別最適な学び、協働的な学びの具現
 - ・主体的に学びたいものを学ぶ授業
 - ・子供同士の学び合いの組織化
- 学びの効率化、最適化を図る ICT の活用
- 授業でのモラルの定着

「挑み続ける心と体を育てる」指導

- テーマ性のある学校行事での自己探求
 - ・運動会、宿泊行事、合唱発表行事等
- 学級での各種キャンペーン活動
- めあてや願いをもって挑む日常の活動
 - ・課題の自覚、活動の生み出しと継続
- 体を鍛える遊び・体力作り
- 6期のチームごとの指導の重点の明確化

安心・安全な学校

○悲しむ一人をつくらない学級経営

- ・いじめをしない、させない学級集団作り
- ・温かさの実感を促す「ほかほかレター」の実施
- ・あのねアンケートの定期実施による早期対応

○頑張ることの心地よさを感じる授業

- ・話し手が大切にされている授業作り
- ・誰とでもオープンに学び合える関係性の構築
- ・授業モラルの確立による安心感の醸成

○誰もが個性的に輝ける学校

- ・努力の素晴らしさが正しく受け入れられる仲間作り
- ・やってみたくに安心して挑戦できる場の設定
- ・居場所作りと絆作りによる自己有用感の醸成

<運営協議会との連携>

モア学園運営協議会

- 羽島中学校区における地域の教育力と小中学校教育との協働と連携
- 9か年を通した子供たちの健全育成 ・防災教育 ・挨拶の推進 ・環境美化

足近小学校運営協議会

「あじか大好き」 ～地域とふれあい、地域と学び、地域に愛着と誇りのもてる子の育成～

学習支援部会

- 教科・総合的な学習の時間（田植え・防災教育等）でのサポート・ゲストティーチャー
- 学習活動サポーター
- 本の読み聞かせ

交流活動部会

- 足近コミュニティセンター各種行事（夏祭り、文化祭、町民運動会）での連携
- 高齢者との交流
- 保育園児との交流

環境整備部会

- 花いっぱい活動のサポート（花の栽培、地域配付）
- 校内・校区の環境美化
- 通学路・校内の環境整備
- 遊具・教材・備品等の整備

安心安全部会

- 交通安全教室（道路歩行、自転車の安全）
- 登下校の安全、見守り
- 防災活動
- 挨拶の啓発活動

<関係機関との連携>

◇保育園の連携 幼児期に育ってほしい「10の姿」に基づいた、保小の架け橋期の指導の重点の整理

◇教育相談機関等との連携 市教育支援センター、子育て健幸課、県中央子ども相談センター、岐阜羽島警察署等と協働での生徒指導・家庭支援

<教職員の構え>

- ・いじめは絶対に許さない、悲しむ一人を絶対に作らないという毅然とした決意のもと、児童の安心・安全な暮らし作りに徹する。
- ・保護者や児童本人の思い、願い、悲しみ、困り感を共感的に受け止め、誠実な気持ちで真心と思いやりを込めて事案対応に努める。
- ・確かな学力を身に付けるための、個別最適な学び、協働的な学びのあり方を常に考え、授業計画・実践・検証を繰り返して授業改善に努める。
- ・教職員一人一人が、教師としての生き方、職務への取り組み方、時間の使い方を見直し、自分自身にとっての働き方改革を実践する。
- ・児童や保護者を悲しませないという考えを根底に、教育公務員としての自覚を強く持ち、不祥事を絶対にしないという強い心を自身に根付かせる。